

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	武藤 光一 委員	
報告案件名	No. 5	悪臭に関する苦情等の状況について

質 問 内 容

昨年8月以降例年を上回る件数が寄せられている「悪臭に関する苦情について」、特に柏木町での件数が多いことは問題です。

現地確認で所有者・管理者に苦情を伝えているとのことだが、的を得た対象者に伝えているのか？今年も同じ状況であれば、行政指導なども視野に考えるべきと思う。たくさんの市民に不快な思いを強いることは酷です。臭いの発生源が特定できないならば、専門家に依頼しても特定すべきで、「快適さを実感できるまちづくり」に努力してほしい。

答 弁 内 容

今回報告した一連の悪臭については、「確認された範囲の広さ」「臭いの強さのばらつき・変化」等により発生源の絞り込みが困難な事案が多かったことから、北海道や北海道立総合研究機構環境科学研究センターの専門家にも助言を求めています。

現在は、その助言を踏まえて臭気元の絞り込みに向けた取り組みを実施しており、今後同様の事案が発生した際には、それらの知見も生かしながら、引き続き悪臭対策に取り組んでまいりたいと考えています。

なお、苦情等の現場で確認された「悪臭の発生源となり得るもの」に対しては「敷地・施設の確認」や「必要に応じて実施する臭気物質濃度調査の結果」などに基づき、1件の行政指導を含む改善に向けた働きかけを個別に実施しています。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	武藤 光一 委員	
報告案件名	No. 9	第2期えにわっこ☆すこやかプランの策定について

質 問 内 容

小学生への計画的な防犯ブザーの配布について……
現在までの配布率はどのくらいなのか？配布されたブザーの使用訓練は、学校現場で行っているのかお伺いします。
不審者情報メール配信登録者は何人くらいなのか？拡大に努める目標値などがあればお伺いします。

答 弁 内 容

防犯ブザーについては、入学時の配布物として新1年生全員に配布しております。
また、小学校全校で、新1年生に対し防犯ブザーの使い方の説明を行っております。
不審者情報メールの配信登録者は2月25日現在で、1,756人となっております。登録者数についての目標値は設けておりません。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	岩井 利海 委員	
報告案件名	No. 1	運転免許自主返納出張窓口の開設について

質 問 内 容

運転免許自主返納出張窓口の開催は大変良い傾向と考えますが、これは市の要望なのか、それとも国・道の施策に基づいているのか、また令和2年度は2ヶ月に1回という頻度で行われるが、次年度以降は今回の動向をみながら開催頻度を検討されるのか伺います。

答 弁 内 容

はじめに、運転免許自主返納出張窓口の開設についてですが、運転免許自主返納の手続は、恵庭市民の場合、市外の警察署又は運転免許試験場、あるいは免許センターのいずれかで行うこととなっていることから返納しやすい環境を整備し、手続の利便性の向上に繋がるよう、市から千歳警察署に出張窓口の開設を要請したものであります。

次に、令和3年度以降の運転免許自主返納出張窓口の開設頻度についてですが、令和2年度の出張窓口開設における実施状況を踏まえて、千歳警察署と協議して参ります。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	岩井 利海 委員	
報告案件名	No. 10	小規模保育事業所の新規開設について

質 問 内 容

新規開設する両園とも利用定員が同じであるが、これは何かの定めに基づいたものなのか伺います。

答 弁 内 容

小規模保育事業は、児童福祉法第6条の3第10項に規定する「保育を必要とする乳児・幼児であって満3歳未満のものについて、当該保育を必要とする乳児・幼児を保育することを目的とする施設において保育を行う事業」であり、利用定員についても6人以上19人以下と定められております。

その規定に基づき、保育室等の面積や保育士の配置予定数により、規定されている上限である定員19人での受入れが可能であり、両園ともに利用定員19人での設定を行っております。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	岩井 利海 委員	
報告案件名	No. 13	消防・救急出動概要について

質 問 内 容

救急出動概要の分娩事案の中で、「自宅にて出生後に救急要請。かかりつけ医療機関へ搬送。」とありますが、どのような状況での分娩であったのか、また出生後、どのような状況になり救急要請に至ったのか伺います。

答 弁 内 容

分娩状況ではありますが、腹部に違和感があり何度か掛かりつけの医療機関へ連絡したが、少し自宅で様子を見るよう指示があり様子を見ていたところ、突然強い腹痛があり娩出したと現場で確認しております。このような状況により娩出したため救急要請となっております。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	岩井 利海 委員	
報告案件名	その他	令和元年度恵庭市地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）事業予定者の選定結果について

質 問 内 容
<p>事業予定者の選定結果について、当該会社のグループ会社は道内で老人介護施設をはじめ、54箇所の事業所を展開し、譲渡先としては問題ないと思慮しますが、人員の確保についてはどのような状況なのか、また開所はいつ頃になるのか伺います。</p>

答 弁 内 容
<p>昨年の12月、市内介護保険事業所の「すまいる株式会社」より経営不振などを理由とし、他の事業所へ事業譲渡をしたい旨、本市に相談がありました。その後、事業譲渡先は、「株式会社モエアグリコネクション」であることを確認しております。</p> <p>このことから、令和2年2月20日に「恵庭市介護保険サービス事業者選定委員会」を開催し、「株式会社モエアグリコネクション」について、事業者プレゼンテーション及びヒアリング審査を行い、譲渡予定者として本事業に対する適正についてご協議・ご審議いただいたところであります。</p> <p>人員の確保及び開所の予定であります。令和2年3月11日に「株式会社モエアグリコネクション」より、現従業員への説明会及び個人面談を実施した上で、就労継続の意思のある方については継続して雇用し、万一従業員が不足する場合はグループ内での異動により対応は可能であるとのことであります。</p> <p>また、事業は継承されますことから、「すまいる株式会社」は令和2年3月31日で事業廃止、翌日令和2年4月1日より「株式会社モエアグリコネクション」での事業開始を予定しているとのことであります。</p>

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	鷹羽 茂 委員	
報告案件名	No. 3	焼却施設整備事業について

質 問 内 容

焼却施設については計画から本年4月の本格稼働に至るまで、特に地域住民の方には大変なご理解とご協力を頂いたと認識しています。その地域住民の方々さらには市民の方々に向け施設見学会を開催すべきだと考えますがご所見を伺います。

答 弁 内 容

焼却施設の施設見学会についてですが、周辺地域住民の方々につきましては、令和元年10月15日の火入れ式前に、各町内会を対象とした見学会を実施しているところであり、今後も町内会と協議の中で要望があれば施設見学を開催していきたいと考えております。また、市民の方々を対象とした見学会につきましては、出前講座のメニューに焼却施設の見学を追加する予定であるほか、施設見学会の開催も計画しております。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	鷹羽 茂 委員	
報告案件名	No. 3	焼却施設整備事業について

質 問 内 容		
<p>また、バイオガス収益について、ガスの売却益について市民が負担する手数料への影響を軽減するとしているが、収益の見込みと市民負担軽減にどう影響するのか伺います。</p>		

答 弁 内 容		
<p>バイオガスの売却益による市民負担の軽減についてですが、ごみ処理手数料は、ごみ収集運搬経費のほか、ごみ処理関連施設に係る運転管理費や建設費など、ごみ処理に係る経費を算定基礎としていることから、バイオガスの収益を焼却施設運転管理費の財源の一部とすることで、ごみ処理手数料の算定経費の縮減を図ることとしており、令和2年度の予算要求では一般会計で2,718万6,000円、産業廃棄物処理事業特別会計で776万7,000円の収益を見込んでおります。</p>		

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	宮 利徳 委員	
報告案件名	No. 5	悪臭に関する苦情等の状況について

質 問 内 容		
<p>初期対応③の中で所有者・管理者等に対し、市に苦情等があったことを伝え、必要に応じ「敷地内・施設内等の確認」「臭気の測定」「実施可能な対策の依頼」等の対応を実施とあるが、これらの対応の実施件数と実施後の結果について伺います。</p>		

答 弁 内 容		
<p>今回報告した一連の悪臭に関連して20件の現地確認を実施し、その際に確認された「悪臭の発生源となり得るもの」12件について、「敷地内・施設内等の確認」「実施可能な対策の依頼」を行っています。いずれの事案も、時間の経過とともに苦情等があった現地での悪臭には緩和傾向が見られていますが、それが依頼した対策によるものなのか、風の影響によるものなのか、あるいは、それ以外の要因によるものなのか、といった点については特定できていません。</p> <p>また、今回報告した一連の悪臭を理由とするものではありませんが、今年度は同一施設において2回の「臭気の測定」を実施しております。</p> <p>なお、今回報告した137件の地点情報には、事後的な情報提供などの「市に連絡があった時点では現地で臭気が確認できない事案」が含まれています。また、現地確認20件には、「1件（の現地確認）で『同じ時間帯』の『複数の地点』における苦情等に対応したもの」が含まれています。</p>		

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	宮 利徳 委員	
報告案件名	No. 1 1	令和2年度の教育・保育に係る確保方策（案）について

質 問 内 容		
<p>小規模保育園の新規開設により特に0-2歳の受入れ可能人数が増加していますが、令和2年度の幼稚園、保育園、こども園等の申し込み状況と、待機児童(潜在保育も含む)の有無について伺います。</p>		

答 弁 内 容		
<p>令和2年度の幼稚園、保育園、認定こども園等の申込状況及び待機児童についてご説明いたします。</p> <p>はじめに、本年3月5日時点の3次募集までの入所決定状況についてですが、保育園及び認定こども園につきましては、0歳児65名、1歳児196名、2歳児201名、3歳児275名、4歳児300名、5歳児295名の合計1,332名となっており、幼稚園につきましては、3歳児222名、4歳児268名、5歳児286名の合計776名となっております。</p> <p>次に、待機児童及び潜在待機児童についてですが、待機児童につきましては、現在、発生しておりませんが、潜在待機児童につきましては、0歳児4名、1歳児12名、2歳児15名、3歳児3名、4歳児4名の合計38名となっております。</p>		

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	宮 利徳 委員	
報告案件名	No. 13	消防・救急出動概要について

質 問 内 容
<p>救急出動について、出動件数と搬送人員に300人程度の差があるが、搬送に至らなかったケースにはどのようなものがあるのか、内訳等があれば伺います。また、出動件数が過去最高を更新したが、どのような要因が考えられるのか伺います。</p>

答 弁 内 容
<p>はじめに、搬送に至らなかった状況ではありますが、不搬送件数が333件、内訳といたしまして、現場において応急処置を行い搬送しなかった事案が171件、緊急に搬送する必要がなかった事案が45件、明らかに死亡していた事案が36件、事故はあったが傷病者の発生がなかった事案が27件、酒気を帯びている傷病者で傷病者又はその関係者が搬送を拒否した事案が6件、傷病者又はその関係者が搬送を拒否した事案が16件、誤報・いたずら事案が9件、その他の事案が23件となっております。</p> <p>次に、救急出動件数が過去最高を更新した要因ではありますが、「急病」、「一般負傷」、「交通事故」、「転院搬送」といった種別ごとに細かく見ますと、年によってそれぞれ増減が一樣でないために一概に言うことは困難ではありますが、高齢者が関係した救急要請が増加傾向にあることから、高齢化が進んでいることが背景にあるものと考えております。</p>

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	市川 慎二 委員	
報告案件名	No. 3	焼却施設整備事業について

質 問 内 容

ごみ処理能力や焼却条件などの性能保証結果は、保証値がほぼ満たされた状況ではありますが、今後の調査公表はどのように進めるのか。

答 弁 内 容

焼却施設の性能試験は、1月の予備性能試験と2月の引渡し性能試験の計2回実施しております。試験結果については、市のホームページに掲載している【焼却施設整備工事 工事報告】のページにおいて、公表いたします。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	市川 慎二 委員	
報告案件名	No. 3	焼却施設整備事業について

質 問 内 容

また、施設周辺地域への説明機会についてお伺いします。

答 弁 内 容

焼却施設周辺地域への性能保証結果の説明機会についてですが、2月14日に開催した焼却施設等周辺地域連絡会議において、予備性能試験の結果について説明しており、その会議において引渡し性能試験の結果は市のホームページで公表すると説明していることから、あらためて説明会等を開催する予定はありませんが、地域からの要望に応じて対応したいと考えております。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	市川 慎二 委員	
報告案件名	No. 3	焼却施設整備事業について

質 問 内 容

バイオガスの配当割合について、それぞれの年間ランニングコストの割合により決定したとのことでありますが、廃棄物処理施設の方が下廻る根拠についてお伺いします。

答 弁 内 容

バイオガスの配当割合についてですが、それぞれの施設の建設年度の違いや更新・廃止した機械設備などがあることから、建設費については配当割合の算定経費に含めず、年間のランニングコストのみを算定の基礎経費としているため、廃棄物処理施設の方が下廻った結果となっております。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	市川 慎二 委員	
報告案件名	No. 3	焼却施設整備事業について

質 問 内 容

また、今後のガス売却益の見通しについてお伺いします。

答 弁 内 容

今後のガス売却益の見通しについてですが、水道部が民間企業と契約しているバイオガスの売却期間は令和21年度までの20年間と設定されていることから、売却益収入についても令和21年度までと見込んでおります。

年度ごとの売却益は、年間のガス発生量が施設の稼働状況や機器の更新などによって変動することから売却益も変動しますが、全体で年間概ね7,000万円程度と想定しております。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	市川 慎二 委員	
報告案件名	No. 5	悪臭に関する苦情等の状況について

質 問 内 容

悪臭に関する苦情が例年より多く寄せられている状況であるが、臭気元の絞り込みについての具体策と確認状況についてお伺いします。また、鳥獣害(カラス等)の関連性と被害状況についてお伺いします。

答 弁 内 容

はじめに、「臭気元の絞り込みについての具体策と確認状況」についてですが、まずは担当者が現地に赴き、臭気の強弱や風向き・周辺の状況などから、臭気元の絞り込みを行うこととしています。しかし、今回報告した一連の悪臭については、「確認された範囲の広さ」「臭いの強さのばらつき・変化」等により発生源の絞り込みが困難な事案が多かったことから、北海道や北海道立総合研究機構環境科学研究センターの専門家にも助言を求めており、現在はその助言を踏まえて臭気元の絞り込みに向けた取り組みを実施している状況です。

次に、「鳥獣害(カラス等)の関連性と被害状況」ですが、一連の悪臭については発生源が同一であるか否かも含め、発生源の絞り込み・特定ができていないため、関連する鳥獣害の有無も確認できておりません。

なお、今回報告した137件の地点情報の中に、鳥獣害に関する苦情はありませんでした。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	生本 富士代 委員	
報告案件名	No. 8	第7期恵庭市介護保険事業計画における地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護の整備について

質 問 内 容

意見書の中で、「地域密着型特養」は、待機者のニーズが低く新設又は増設整備の再検討が必要と市が判断したとの事ですが、待機者のニーズが低い根拠は何をもって判断されたのか、お伺い致します。

答 弁 内 容

「恵庭市介護保険サービス事業者選定委員会」におきまして、恵庭市内で地域密着型特別養護老人ホームを運営しております、社会福祉法人3者へ地域密着型特養の整備についてヒアリング等を実施した結果、入所の申込みをしている待機者の中に緊急度・必要性が高い方が少ないことがわかりました。更に資料に記載の他の介護サービスの基盤が整ってきたことから、この度の地域密着型特別養護老人ホームにつきまして、整備の時期、ニーズを改めて見定めた上で、第7期介護保険事業計画の中で整備の必要性について再検討することが望ましいとのご意見をいただいたところであります。

この「恵庭市介護保険サービス事業者選定委員会」の意見を受け、令和2年2月7日に開催されました「地域密着型サービス運営委員会」も兼ねております、恵庭市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門部会におきまして、第7期介護保険事業計画における基盤整備の変更について、ご審議、ご承認をいただいたところであります。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	生本 富士代 委員	
報告案件名	No. 9	第2期えにわっこ☆すこやかプランの策定について

質問内容		
<p>P64 基本目標2 子育て支援の充実の、新規事業の3つに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎利用者支援事業 ◎外国人家庭の支援 ◎幼稚園での満2歳児の受け入れの実施 <p>具体的にはどんな内容なのか、お伺い致します。</p>		

答弁内容		
<p>はじめに、利用者支援事業についてですが、事業の内容につきましては、保育士等の資格を有した「子育て支援員」が、地域の子育て支援サービスや幼稚園・保育園等の利用に関する情報提供等、子育てに関する様々な相談に応じ、子育て家庭の方が、サービスを円滑に利用できるよう支援を行うものです。</p> <p>なお、「子育て支援員」は子育て世代包括支援センターに配置し、母子保健コーディネーターや保健師のほか、幼稚園・保育所や子育て支援センターなどの関係機関と連携し支援を進めて参ります。</p> <p>次に、外国人家庭への支援についてですが、幼稚園や保育園等で外国人幼児等を受け入れる際に言葉や文化の違いに苦慮する保護者や園に対し、子育てに関する情報や、就園に関する情報、案内等を関係機関と連携し情報提供を行い、お互いが安心して利用できるよう相談等に応じて参ります。</p> <p>最後に、幼稚園での満2歳児の受入れの実施ですが、潜在待機児童が多く発生している1歳児の受入拡大策として、幼稚園において満2歳児を一時預かりとして受け入れる幼稚園に対し補助金を交付する事業を、令和2年度より実施する予定としております。</p> <p>対象は、保育が必要な3号認定を受けた満2歳からの児童とし、保育園と同様に7時15分から18時15分までの1日11時間を上限に預かり保育を行って参ります。</p>		

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	生本 富士代 委員	
報告案件名	No. 9	第2期えにわっこ☆すこやかプランの策定について

質問内容
<p>P69 乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業に関して 今までの周知方法と、実績はどうだったのか、今後どのような方法で、行っていくのかお伺い致します。</p>

答弁内容
<p>乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業は、排出抑制の努力をしても減量することが難しい紙おむつ廃棄に要する負担を軽減するため、2歳未満の乳幼児のいる家庭に対し、月齢に応じて20リットルの燃やせるごみ袋を月10枚支給する事業です。</p> <p>周知方法は、年1回、4月1日に市内に住所を有する該当世帯への個別周知、出生届や転入届を提出された方に対する窓口でのご案内、その他ホームページや市広報により行っております。また、受取に來られていない方への対応として、該当世帯へ個別に案内文書を送付し、市広報にも掲載しているところです。</p> <p>実績としましては、平成30年度では、対象の乳幼児915名に対し、交付件数868件で、支給率は94.9パーセントとなっております。</p> <p>今後につきましては、現在の支給率が約95パーセントとなっており、一定程度の対象者に支給されていると認識しておりますことから、当面は、従来どおりの方法による実施として参ります。</p>

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	生本 富士代 委員	
報告案件名	No. 9	第2期えにわっこ☆すこやかプランの策定について

質 問 内 容
<p>P72 学童クラブ事業に関して 緊急的な学校休校等の場合、学童未登録の児童でも、対応出来る様な支援策を、追加することは可能でしょうか、お伺い致します。</p>

答 弁 内 容
<p>学童クラブは、小学校区ごとに開設し、運営基準・規則に基づき、開設場所の確保や施設整備、支援員の配置を行い運営しております。</p> <p>そのため、緊急的な学校休校等での「学童クラブ未登録児童の受入れに係る支援策の追加」につきましては、利用希望の増加に対して、子どもたちが安全で安心して生活するための場所や新たな支援員の確保が困難な現状においては、実施は難しいと考えております。</p>

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	前田 孝雄 委員	
報告案件名	No. 1	運転免許自主返納出張窓口の開設について

質問内容		
<p>令和元年第4定例会の一般質問で、警察署と連携し「運転免許証自主返納窓口」の設置について要望させて頂きましたが、速やかに対応して頂き感謝致します。</p> <p>そこで、10日の読売新聞にも昨年1年間の免許返納者が60万人を超え過去最高となりましたが、この窓口の開設によりどれだけの成果を見込んでいるのか(各開設日定員15名で大丈夫なのか)、また、今後の取組についてお伺いします。</p>		

答弁内容		
<p>運転免許自主返納出張窓口の開設における成果の見込みについてですが、運転免許自主返納の手続は、千歳警察署の署員が対応することとなっており、各開催日の受付可能な人数を署員の配置に合わせ15名、年間90名程度と見込んでおります。</p> <p>次に、今後の取組についてですが、市の広報やホームページなどで事業の周知を図り、出張窓口の利用状況を踏まえて、千歳警察署と協議して参ります。</p>		

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	前田 孝雄 委員	
報告案件名	No. 5	悪臭に関する苦情等の状況について

質 問 内 容

本市の対応等につきましては、理解できますが、素朴な疑問として昨年8月以前と以降で、町別の苦情件数から見て、柏木町を中心に又は柏木町以西の地域において、物理的に何か環境等の大きな変化が無かったのかお伺いします。

答 弁 内 容

現在までのところ、今回報告した一連の悪臭に関わりがあると思われるような「環境等の大きな変化」は、柏木町やその周辺地域も含め、把握しておりません。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	前田 孝雄 委員	
報告案件名	No. 8	第7期恵庭市介護保険事業計画における地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護の整備について

質 問 内 容

委員会としての意見の中で、【見解】(2)の施策により環境が整ってきた事を入居申込待機者のニーズが低い理由としておりますが、2025年問題である高齢者の増加を向かえる中で、他にニーズが低い理由はないのか。

答 弁 内 容

本市では、資料にお示ししましたとおり、第7期介護保険事業計画に基づき、介護サービスの基盤整備を進めてきたところであります。

地域密着型特別養護老人ホームにつきましては、昨年度及び本年度の2度公募いたしました。が、応募がありませんでした。

このことから、「恵庭市介護保険サービス事業者選定委員会」におきまして、恵庭市内で地域密着型特別養護老人ホームを運営しております、社会福祉法人3者へヒアリング等を実施した結果、入所の申込みをしている待機者の中に緊急度・必要性が高い方が少なく、また、開設者を含め、双方のニーズが低いことなどを確認し、整備が必要であるか、再検討することが望ましいとのご意見をいただいたところであります。

「団塊の世代」が75歳以上となる2025年問題、また「団塊ジュニア世代」が65歳以上になる2040年問題を控え、今後更に高齢化の進展が見込まれることは、本市といたしましても十分認識をしておりますことから、第8期介護保険事業計画以降の計画策定におきまして、高齢者及びその家族や事業所のニーズを的確に把握し、適切な基盤整備などに努めて参ります。

厚生消防常任委員会質疑答弁書 (2年1定)

質問委員	前田 孝雄 委員	
報告案件名	No. 8	第7期恵庭市介護保険事業計画における地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護の整備について

質 問 内 容

地域密着型サービス事業予定者の選定結果について、事業譲渡の理由に「経営陣の高齢化と経営不振」を挙げておりますが、選定した事業者のこれら理由を改善する経営方針、十分な提案がなされたのかお伺いします。

答 弁 内 容

譲渡先であります「株式会社モエアグリコネクション」は、「株式会社モエホールディングス」の子会社で、「株式会社モエホールディングス」につきましては、認知症対応型グループホームをはじめ、特別養護老人ホーム、老人保健施設、有料老人ホームなど、道内を拠点に54の事業所を開設している企業であります。

令和2年2月20日開催の「恵庭市介護保険サービス事業者選定委員会」におきまして、事業者プレゼンテーション及びヒアリング審査を行い、運営全般、職員体制、事業譲渡、財務状況を含む法人の経営状況等について、譲渡予定者として本事業に対する適性についてご協議・ご審議いただいていることから、選定事業者からは十分な提案がなされたものと考えております。